

有喜地区SOS模擬訓練&第14回語らん場報告

R6.3.30(土) 13:30~16:00

当日の流れ

経過

これまで有喜地区では介護予防と生活支援の語らん場を13回重ねてきた。その中で高齢化や認知症、そして有喜町の現状などを知り、有喜地区皆で認知症の正しい理解をと認知症サポーター養成講座も数回重ね、認知症の方も誰もが住みやすい有喜町を目指し、今回の住民主体のSOS模擬訓練開催となった経過を挨拶としていただきました。

※ワーキンググループから参加している、民生委員・児童委員の副島さん

当日は、関係者含め110名参加！しおさい会館の中の様子



本人の思い

ながさきけん希望大使：田中さん(右)
「もしそうなった時、今日の訓練のように声掛けをしてくれると安心できる」

東長崎包括支援センター：廣瀬さん(左)
「“警察”ではなく“お巡りさん”と言い変えるだけでも柔らかい表現に」

(1) 説明

- ・認知症の正しい理解
- ・行方不明になった時の気持ち
- ・対応のポイント

(2) 声掛け訓練

- ・有喜地区を歩き、認知症役の方へ声掛け対応。2事例実施

(3) 検索アプリ使用訓練

- ・オレンジセーフティネット検索訓練参加or説明会参加

(4) 有喜地区語らん場

第14回

- ・意見交換会
「有喜地区は認知症をオープンにできるようにしたい」
「心構えが出来ていたつもりでも、いざ声掛けとなると…」
「日頃からの挨拶が大事」
「今日の反省を踏まえて、是非もう一度実施したい！もっと進めていきたい！」

相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

対応の心得

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

参加者は、
自治会長
民生委員
児童委員
老人クラブ
婦人会
消防団
子供会
サロン
派出所
など…

